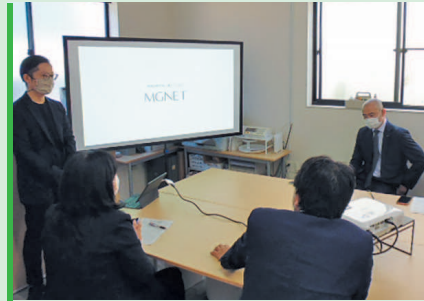


視察

人口減少問題対策特別委員会

〈令和2年11月19日～20日〉



株式会社MGNET（燕市）

- ものづくりによる地域活性化
- 若手起業家の支援



妙高市議会（妙高市）

- 移住・定住促進に向けた取組
- ワーケーション推進の取組



十日町市児童センター
めぐらんど（十日町市）

- 子育て環境整備の取組
- めぐらんど現地視察

令和2年12月
Vol.6

こいずみまさる
県政
レポート

笑顔あふれる地域のために!

新潟県議会議員

小泉勝



リパラル新潟

小泉勝事務所 〒954-0046 新潟県見附市双葉町2-4 TEL:0258-62-1265 FAX:0258-62-7078 Eメール:kongetukoyoi@yahoo.co.jp

建設公安常任委員会

土木部

～ 主な質問 ～

〈令和2年12月8日〉

質問

官民連携の手法として設置管理許可制度、PFI事業、指定管理者制度などに加え、平成29年の都市公園法改正により、Park-PFI制度が創設されたが、県内の取組と、今後の県立都市公園の官民連携の取り組み方針について伺う。

答弁

公園施設の設置と、そこから生じる収益で公園施設の整備改修等を行う制度の、Park-PFIの県内での活用事例はないが、現在燕三条駅前の公園整備に、三条市、燕市が意見収集と調査を実施している。こうした制度も含め、あらゆる制度の活用を念頭に、収益性の確保、官民連携に取り組んでいく。

公安委員会

〈令和2年12月10日〉

質問

過去3年間の信号機の要望数と要望に対する設置件数について伺う。また、見附市において福祉施設前の横断歩道での交通安全街頭活動において、見附署長、交通課長から大変丁寧な対応をして頂いたことに感謝を申し上げたい。

答弁

平成30年度 警察署への要望数130・警察本部への上申数46・設置数34
 令和1年度 警察署への要望数127・警察本部への上申数51・設置数49
 令和2年度 警察署への要望数149・警察本部への上申数33・設置数15

— 2021年も宜しくお願い致します —

令和2年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄されて、私たちの生活が一変してしまいました。感染症の終息とともに、令和3年が、皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう引き続き尽力してまいります。御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

新潟県議会議員 小泉 勝

新潟県議会新総合交通防災対策特別委員会より

見附市SWC・スマート
ウエルネスシティの
視察を受けました。

〈令和2年11月11日〉



チラシの配布で「交通安全」を呼びかけ

熱田町にある福祉施設「みつけワークス」前にて、見附警察署員、みつけワークス職員、地域住民が協働で、横断歩道前の一時停止等、ルールを呼び掛けるチラシを配布しました。

〈令和2年12月9日〉



令和2年12月 新潟県議会定例会 主な議決内容

《12月補正予算における主な事業の概要》

新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の維持

- 感染拡大防止と医療提供体制の整備
はまぐみ小児医療センター事務費、基幹病院事業助成費、機器備品整備事業
- 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復
・冬季観光活性化緊急対策事業 ・佐渡航路事業継続支援事業 ・地域公共交通感染症拡大防止対策事業

『新潟県いじめ等の対策に関する条例』を可決・制定

大きな社会問題の一つ、いじめ等に対し、①いじめを防止すること、②早期に発見すること、③適切かつ迅速な対応をすること、そして④それを検証し情報を共有することをそれぞれの立場で徹底することが重要です。

新潟県議会インターネット中継

※録画中継は、その会議の会議録がホームページで公開されるまでの配信です。

一般質問▶



会議録の
検索と閲覧▶



●小泉勝「県政レポート」は見附市内に新聞折込などでお届けしています。ご近所でご覧になっていない方がおられましたら小泉事務所にお知らせください。

小泉勝は、地域の声をしっかりと届けます！！

新型コロナウイルス感染症の第3波が到来するなか、昼夜を問わず対応いただいている医療従事者の方々、介護従事者の方々などの更なる負担が懸念されます。多くの方が日々の生活に制限がかかり、経済活動にも大きな影響が続くなど、精神的にも経済的にも負担が大変大きくなっており、一日も早く、皆様の平穏な日常を取り戻せることを願いつつ活動を続けて参ります。



新型コロナウイルス感染症について

質問 大学受験や新社会人研修などでの感染症流行地域への往来者が希望する場合や、介護施設や学校の職員・生徒・学生は、医師の判断を待たずにPCR検査を受けられる体制の構築と民間の医療機関でのPCR検査費用の補助なども検討すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答弁 知事 自身の健康観察を注意深く行い、発熱などの症状が見られた場合には、速やかに相談・受診いただきたいと考えている。現在の状況から、無症状で感染が疑われない県民にすべからず検査を支援することについては、必要性や費用対効果の観点から慎重な検討が必要と考えている。また、症状のある方が公費で検査を受けられるよう注力していく。

質問 新潟市西区の介護老人保健施設において、新型コロナウイルス感染症に係る大規模なクラスターが発生したが、高齢者福祉施設への簡易検査キット配備に向け、県が通知や指導等を行い、自主的に迅速に検査ができる体制を整備してはどうか、知事の所見を伺う。

答弁 知事 これまで高齢者施設に対し、有症状者への早急なPCR検査の実施を求めるとともに、議員からのご指摘を受け、速やかに検査結果が判定できる抗原検査キットの活用についても呼びかけているところである。引き続き、重症化しやすい高齢者に感染が広がらないよう、高齢者施設におけるより迅速な検査体制の充実に努めていく。

いじめ・不登校の児童生徒について

質問 不登校となった児童生徒に対し、本人の意向を十分に尊重し希望の実現に向け、学校が中心となって、保護者、心療内科医、スクールソーシャルワーカーなど関係者と連携しながら、迅速かつ柔軟に対応する必要があると考えるが、所見を伺う。

答弁 教育長 不登校児童生徒の抱える問題は、学業、友人関係、家庭環境等様々であり、学校だけで対応することが困難なケースもあることから、議員ご指摘のとおり、心療内科医やスクールソーシャルワーカー等と連携を図り、専門的な見地から、個々の状況に合わせて対応する必要があると考えている。

質問 不登校となった児童生徒への対応として、学校への復帰までの期間、オンライン授業を受けることで、出席扱いや単位修得のための授業時間にカウントする柔軟な対応は可能と考えるが、所見を伺う。

答弁 教育長 高校においては、病室等にて病気療養中である場合を除いては、単位修得のためのオンライン授業を実施することは難しい現状だが、不登校となっている生徒がオンラインによる学習支援を受けることにより、学力を維持し学習意欲を向上させることで、登校再開後の単位修得につながることも期待でき、今後ICT活用を考えていく。

質問 不登校となった児童生徒への対応については一義的には学校であると承知しているが、学校への復帰の遅れから進学への影響や児童生徒の将来に支障を来す恐れがある場合、教育委員会が積極的に当該学校を指導するなどの一歩踏み込んだ対応が必要と考えるが所見を伺う。

答弁 教育長 不登校となった児童生徒の学校復帰への対応は、その児童生徒の特性等を把握している学校が行うことが基本であり、保護者の理解を得ながら、別室登校の期間を設けるなど、段階を踏む必要があると考えている。必要に応じて、県教育委員会が指導主事やスクールソーシャルワーカーを派遣して対応していく。

原発再稼働問題について

質問 報道で柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に当たっての地元同意の範囲について、県内30市町村長に行ったアンケート結果では、県とUPZ圏内市町村の同意を求めたのは7市町村であったが、地元の同意の範囲について、知事の所見を伺う。

答弁 知事 地元同意については、広域自治体として県が立地自治体以外の自治体の意向を取りまとめ、意思表示を行うべきと考えている。いずれにしても、原発の再稼働の議論については、手続きを含め3つの検証の結果が示された後に始めたい。

質問 原子力災害時の避難ルートについて、県は選定された道路に必要な機能が確保されているか点検し、不足するようであれば機能確保に向け積極的に整備すべきと考えるが所見を伺う。

答弁 防災局長 避難経路については、道路の実態、状況を把握している市町村で適切に選定されているものと考えている。渋滞など避難の阻害要因への対策を目的とした、原子力災害時の避難シミュレーションを行っており、この結果を市町村に提供し、渋滞等の避難を阻害する要因の解消に向けた取組を支援していく。

交通ルール、マナーの向上について

質問 横断歩行者の事故を防止し、安全な交通社会を実現するためには、横断者がある場合における横断歩道前の一時停止について、啓発活動を強化し県民一人ひとりに意識付けを行い一時停止の文化の浸透を図っていくべきと考えるが、所見を伺う。

答弁 県警本部長 県警察では、横断者がある場合に横断歩道前で自動車等が一時停止する義務があることを周知するため、交通情報板、ラジオ放送、SNSなどの媒体を活用した広報を行っているほか、運転免許更新時の講習会など各種交通安全教育の機会を利用して、浸透を図っている。また、横断歩行者妨害違反の指導取締りも強化している。

その他の質問

- 「新型コロナウイルス」
 - 事業者への追加支援、更なる経済支援の充実
 - 感染防止対策と経済対策のバランスについて
 - 県独自で実施している『消費喚起・需要拡大プロジェクト』応援事業
 - 県内国内格安航空会社であるトキエアへの支援
 - 感染者の経済状況と自殺者数
- 「教育問題」
 - 増加するいじめに対する県の受け止めと現状
 - いじめ対策強化のための『生徒指導課』の取り組み状況について
 - 学校現場の慢性的な業務の多忙化対策
- 「原発再稼働問題」
 - 「使用済核燃料税」の条例による柏崎市への影響
- 「交通ルール、マナーの向上について」
 - 3D横断歩道やイメージハンブの設置拡充
 - ラウンドアバウト（環状交差点）の導入と理解促進
 - 官民連携による『あおり運転』防止に向けた取組

令和2年 フォトダイアリー 10月



〈10月17日〉新潟市・JICA協力隊 ナビ
 〈10月21日〉長岡市・デイワークス 中之島 虹の家
 〈10月22日〉長岡市・長岡花火ミュージアム
 〈10月24日〉長岡市・いがたまち づくり会議

11月



〈11月7日〉見附市・市民駅伝大会
 〈11月8日〉見附市・本町中央 商店街ハロウィン
 〈11月9日〉新潟市・漁業調査船『越路丸』見学会
 〈11月14日〉田上町・道の駅たがみ
 〈11月25日〉妙高市・フルサット

12月



〈11月26日〉糸魚川市・糸魚川ジオステーション
 〈12月11日〉柏崎市・ハコニフ
 〈12月12日〉新潟市・こども創造センター
 〈12月12日〉新潟市・いくとびあ 食花
 〈12月13日〉見附市・見附市スポーツ協会表彰式